

産業の充実と地域の振興

全国書画 展覧会

昭和6年(当時は「全国書き方展覧会」)から始まり、第69回を数える本展覧会は、全国から21万点を超える作品の応募がある。



全国書画展覧会(表彰式)

筆まつり

毎年9月23日(祝)に行われ、熊野筆が年に一度の大特価で買える筆の市を始め、筆の都熊野ならではの祭りです。



筆の里 工房

筆の里工房は、熊野町の特徴を生かした筆の都としての中心的な役割を担う施設です。

著名人の企画展、伝統工芸士による筆づくりの実演などに加え、新たに熊野筆産業情報センターを開設し、コ

ディネーターを育成することにより、筆の商品開発や販路開拓など産業支援機能の強化を図り



熊野町 庁舎

「町民に開かれた庁舎」、親しみやすく集いやすい庁舎」を設計の基本コンセプトとして、熊野町の新たなまちづくりの拠点施設です。



地域情報化の推進

情報インフラの整備により情報通信体制の充実及び情報化に対応できる人材の育成を図っています。また、庁内LANを整備し、業務のシステム化により事務処理の効率化を図るとともに、インターネットを活用した情報発信に取り組んでいます。

交通ターミナル

多様な機能を持つ交通ターミナルの拠点整備や高齢者、障害者に配慮した町内循環型コミュニティバスの運行により、誰にとっても利用しやすく、便利で快適な交通体系の確立を目指しています。

国際交流

中学生、高校生を対象としたインターナショナル人材育成(海外派遣)事業や中国四川省内江市との交流などに取り組んでいます。

